



ペンギン

ピッ

ピッ
ピッ

ピンポーン

『改札口におけるペンギンの鳴き声』

※ペンギン：JR東日本により発行されたICカード乗車券に描かれているキャラクター、Sui-caペンギンのこと。



人鳥企鵝

◇ペンギンヘアーという髪型がある。これは整髪料を使い髪を意図的に逆立てたものだ。無論、実際のペンギンはそんなものを使用しているわけではない。ではなぜその名が付いたのかというと、昔とあるテレビCMでそのような演出がなされたからだ。

◇このときCMに出演したのはおそらくイワトビペンギンと呼ばれるペンギンの一種だ。彼らの特徴は目の上と頭部から上方に伸びる髪の毛だ。また、歩き方も他のペンギンとは違い、両足をそろえジャンプするようにして進む。イワトビペンギンの名はそこに由来する。加えてもう一つ、彼らにはある特徴がある。それはたいへん攻撃的なことで、近くを通るだけでも襲ってくるほどだ。

◇おそらく、件のCMを作った者はそこに目を付けたのであろう。イワトビペンギンの荒々しさにあやかりうという、宣伝効果を求めたのだ。

◇しかし筆者がこの髪型の名を初めて知ったときは、そんな由来とは夢にも思わなかった。中学校時代の恩師の髪型がそう呼ばれていることを人づてに聞いたのだが、その教師は温厚というものを絵に描いたような人物だったのだ。

◇ここで今一度イワトビペンギンの習性に目を向けてみよう。すると、ある特性が目をつけた。彼らはペンギンの中でも夫婦の絆が強く、実に半数以上が二年続けて同じペアでつがいとなるそうだ。いうなれば、いつも突っ張っている若者のようで交際相手のことは真剣に考えているようなものだ。

◇筆者は師がはたしてどのような意図であの髪型にしていたのか知らない。しかし、イワトビペンギン達にも負けない、強い絆を私達と築いていたと、筆者は信じるものである。



「あなたはペンギンですか？」

「はい。」

「この子供のペンギンはあなたのですか？」

「はい。」

「サメの餌が足りないんで子供を餌にしてもいい？」

「……はい。」

「寒いんで毛皮もらってもいい？」

「……はい。」

「調査に必要なんで翼でもいい？」

「……はい。」

「ビー玉のかわりに目玉もらってもいい？」

「……はい。」

「油と肉にしてもいい？」

「……………はい。」

『肯定ペンギン』

みにくいアヒルの子

むかしむかし、あるところに、
一羽のアヒルが住んでいてタマゴ
を暖めていました。やがてタマゴ
が1つずつ割れると、中からは黄
色い色をしたかわいいヒナたちが
顔をだしました。ですが、1つだ
けタマゴがうまれてきません。し
ばらくたつて、やっとタマゴを割
って出てきたのは、頭が黒く汚れ
ているみにくいヒナでした。

みにくいアヒルの子はどこへ行
つてもいじめられ、つつかれて、
かげ口をたたかれます。はじめの
うちは、みにくいアヒルの子をか
ばっていたお母さんも、しまい
には

「本当にみにくい子。いっそ、ど
こか遠い所へ行ってくれたらねえ」
と、ため息をつくようになりまし
た。

それを聞いたみにくいアヒル
の子はいたたまれなくなつて、み
なの前から逃げ出してしまいまし
た。

あてもなく飛び出しましたが、
どこへ行ってもきらわれます。ア
ヒルの子は人目につかない場所を

選んで眠り、起きればまた逃げ続
けました。季節はいつの間にか冬
になりました。

ある日、みにくいアヒルの子は、
ものすごく大きくて青い湖に辿り
つきました。

「もう疲れたよ。さよなら」
そう言うとき身を投げました。口
中に水が入ってきて、冷たくて、
苦しくて、なぜかしよっぱいと思
いました。みにくいアヒルの子は
そのまま深く深く沈んでいきまし
た。

気がつくとみにくいアヒルの子
は群れの中にいました。親切な鳥
が助けてくれたみたいでした。良
く見ると周りの鳥たちは全員白と
黒の模様で、自分と同じでした。

「気がついたかい。」

一羽の鳥が話かけました。

「まったくどうして君は海で溺れ
ていたんだい。僕らにとって海は
友達みたいなもんだろ。」

みにくいアヒルの子は本当の仲
間に会えたようでした。めでたし
めでたし。



さむい、さむい、ふぶきのなか。

どれくらいまえから、こうしてもうってたんだろう。

ぼくをあたためてくれるおとうさんのおもさは、

さいしよのそれよりずっとかるくて。

ずっとあたためてもうわないといけない、よわいぼくは、

おとうさんをどんどんよわらせていく、こわいぼくで。

でも、おとうさんはだいいじょうぶ、とほほえみかけてくれる。

だから、いつか、ぼくがもっとおおきくなったときは。

おとうさんみたいに、つよく、やさしくなるんだ。

『いごもぺんぎんのけっい』

「ハロー、夜。」

目覚めたらまずそう言うのが最近の僕の口癖だ。それは、ここでは引越してくる前に住んでいた所と比べて日差しが弱く、昼間にも関わらず夜明け前みたいな明るさだからだ。今もまだ周りのはほの暗い。しかし、目覚まし時計の方に目をやると朝の8時を指していて、確かに朝だった。

「ハロー、泡柱。」

ベッドから体を起こして窓の外を見ると、泡柱が立ち込めていた。この家のすぐわきに温泉があるらしく、たまにこうやって泡柱を見ることが出来る。それはとても綺麗で、朝に見られると1日中幸せな気分になる。ちなみに泡柱とは僕の造った造語で、その名の通り泡が柱のように立ち昇った様子のことだ。我ながらナイスネーミングである。

「ハロー、海老たち。」

2階にある寝室から1階のリビングへと降りていくと、今朝も海老たちが部屋の掃除をしてくれていた。声をかけると「お早うございます」と返してくれるので気持ちがいい。彼らは近所に住んでいて、僕が引越して来たばかりの頃はときどき掃除をしに来る程度だったけれど最近毎朝来てくれるのでありがたい。彼らに言わせると、どうもこの家のほこりはブランクトンが多いらしい。

「ハロー、ペンギン。」

朝刊を取りに庭のポストへ向かうと、ちょうど郵便屋のペンギンに会った。彼は地上からここまで郵便を運んでくれるのでとても感謝している。「ほむらさん、またお手紙が届いていますよ」そう言って渡された手紙の差出人を見ると、やっぱりママからだった。彼女は元気でやっているのだろうか。しみじみ彼女のことを想っていると、ペンギンが帰るそふりをしていった。「いつもありがとう」去り際に感謝の言葉を告げると、彼は「仕事ですから」と言っただけで宙へ飛び立った。

海の中の家

ペンギンのお散歩！日

「ねえねえトラくん、トラくんは走るの早くてかっこいいね！」

「ペンくんもスゲーよ！お魚さんみたいにビューンて泳げるじゃん！」

「そっか、じゃあボクはお魚さんなのかなあ？」

「ねえねえイワシちゃん、トラくんがボクはお魚さんみたいだって！」

「さ、魚に羽は生えてないと思うなあ。ペンくんは鳥さんじゃないかなあ？」

「そっか、じゃあボクは鳥さんなのかなあ？」

「ねえねえカラスくん、ボクは鳥さんなんだって！」

「だけど鳥は空を飛ぶんだぜえ。ペンくんは空を飛べないだろう？」

「うーん、じゃあボクは一体なんなのかなあ？」

「ねえねえふくろうさん、ボクって一体なんなのかなあ？」

「ペンくんはね、『ペンギン』っていう鳥さんなんだよ」

「そっか、ボクは『ペンギンさん』だったんだ！」

「ねえねえペン子ちゃん、ボクは『ペンギンさん』なんだって！」

「でもペン子も『ペンギンさん』だよ？」

「あれ、じゃあボクは『ペンギンさん』じゃないのかなあ？」

「ねえねえおかあさん、ボクって一体なんなのかなあ？」

「ペンくんはペンくんよ。私の大切な子供よ」

「そっか、ボクはボクだったんだ！」

「ねえねえペン子ちゃん、ボクはボクなんだって！」

「そっか。ペン子もペン子なもの。」

「ねえねえペン子ちゃん、お散歩しよう！」

「そうね、お散歩しましょう！」



「わーわーおーちゃん、とりせんはいっぱいおそろいさるのにと
うしてわたしはとべないの？」

「それはね、翼が小さいからだよ」

「あとうさぎちゃん、おとなになったらはちがおおきくなるっていつ
たよ？でもおとなのひとたちもそろそろとんでるのよたことないよ？」

「うん、実は昔は大人になるときに翼を太くするか長くするか選べたんだって。
でも昔の人が太くする方ばかり選んだから今はもう長くはできないらしい
よ」

「なんでーわたしもとべたいよー」

「そうだねー、私も飛べるものなら飛びたい。」

「……でもね、確かに空は飛べないけど、海をあんなに速く泳げるのは私たちだ
けなんだよ？」

「そっか、とべないかわりにおよげるんだね」

「でも、私は飛びたいの……」

「どうやって？」

「もうすぐ、わかるよ」

「もうすぐっていつ？」

「秘密」

*

*

*

次の日、一体の死体が崖の下で発見された。自殺のようだった。

私は刑事なので、仲が良かった人に何か言っていなかったか調べていた。

すると、妙なことを言い出す者がいた。

「おーちゃんね、とんだんだよ。だからいまおそろにいるの。
わたしもとべたいなあ」

何か後ろ髪ひかれるものを感じつつただの変な子だというように自分に結
論付けてその日は床に就いた。

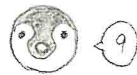
*

*

*

次の日、崖の下にはまた一体の死体ができていた。

「空望お飛べない鳥の末路」



10がつ23にち はれ
まよぅは、おとあさわん、おかあさわんが、とお
くえごかけました。おさかなを、とってくるそ
うです。さみしかったです。

11がつ2にち くもり
まよぅは、おかあさわんが、たべものをもってま
ました。ごも、おとあさわんが、かえってまませわ。は
くまでほしいです。

11月14日 晴れ
お父さんは、まだ帰らない。お母さんが、海にはこわい
がいっぱいいるのよって言った。でも、帰ってくるよね。
お母さんが泣いていた。

11月28日 晴れ
お母さんも帰らなくなった。おなかへった。今日は、南極小
学校で、アザラシを勉強した。海はこわい。

12月15日 雪
寒い。おなかへった。きっと、魚をいっぱいとり
てから帰りが遅いんだ。

た 12 月 25 日 曇り
す け

て

ナ

ぎんぺ
みずぎもきな
さむいなんきよくのうみのな
にもぐりあそぶのがだいすきなんだ。このう
みでさかなをつかまえてるんだけど、なぜ
かばけてちがうさかなになっちゃった。
せかいがあつたかくなつたから？い
つものさかながいなくてさみし
い。かえってきてよ。

コンテスト結果

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
01	改札口におけるペンギンの鳴き声	10 pt	2 位	0 sp
		発想の勝利！ な今週の表紙です。 なるほどねー、このお題でそこへ着眼するとは、さすが、サイコロ旅の参加者さんは違いますね！ ちゃんと説明もあるのがグッジョブ。 長文じゃないものも書いてみるもんだ。めでたくシルバー・メダルゲットです。おめでとう!! イチオシフレーズ：「ピンポ〜ン」		
02	人鳥企鵝	0 pt	10 位	2 sp
		久しぶりの正統派参上！ イワトビペンギンを軸に、中学時代の恩師へとリンクさせつつ、きっちり組み立てた論説でした。 ただ、タイトルはもっとフレンドリーであってほしかった。「人鳥」=ペンギン、「企鵝」=ペンギン、読めませんってば。 特別賞：なんて読むので賞 from T班（タイトル読めない） タイトルの意図は……？ 賞 from U班（作者の人にタイトルの真意を發表してもらいたいから）		
03	肯定ぺんぎん	17 pt	1 位	3 sp
		悲しいね、「はい」しか言えないなんて。あんまりだね。コウテイ君に同情しきりの展開です。そう言えば、動物はみんな「いいえ」が言えないんだっけ。 展開の巧みさがウケてゴールド・メダル&最多特別賞のダブル受賞です、おめでとう!!! 特別賞：気持ち分かるで賞 from R班（あ、はい） 4位賞 from X班（惜しくも4位） 子供を大事にしま賞 from Y班（肯定するかどうか迷った時間が自分が料理されるときより、子供くれのときのほうがみじかい） イチオシフレーズ：「油と肉にしてもいい？」		
04	みにくいアヒルの子	2 pt	7 位	0 sp
		敢えてペンギンと明示しないところが奥ゆかしい。 たしかに白鳥でなく、ペンギンでもいいんだ。みんながうらやむ鳥でなくっても、しっかり仲間に出会えばいいんだ、と納得の展開でした。		
05	こどもぺんぎんのけつい	9 pt	3 位	0 sp
		フォントとフレーズの効果で、こどもぺんぎんのけなげさ全開。「よわいぼく」は「こわいぼく」。 ラストの明るさにきゅんします。 王道に復帰した作者さん、おめでとうブロンズ・メダル！		
06	海の中の家	4 pt	6 位	0 sp
		朝、目覚めて身のまわりのいろんなモノにハローハロー。そんな親近感とともに、だんだんと語り手さんの状況が見えてくる組み立てが工夫されています。 つづきが聞きたくなる親近感でした。 イチオシフレーズ：「ハローぺんぎん、ほむらさん」		

		「ハロー、夜」
07	ペンくんのとある一日	2 pt7 位0 sp 絵本的な展開になごみます。ぼくってナニモノなんだろう？ ページをめくるたびに自我の発見が進んでゆく。 ペン子ちゃんとおしあわせに。 イチオシフレーズ：「お散歩しよう」
08	空望む飛べない鳥の末路	8 pt4 位0 sp 突然の刑事にびっくりです。ほんわかムードかなあと 思っているところにいきなり！ その落差がいいインパクトになってました。でもまあ、年の終わりにそんなに殺さないでくださいな。
09	それでもぼくは待ち続ける	6 pt5 位3 sp この子、字の上達早いなあ。そんなフォント芸が楽しかったです。 クリスマスに「たすけて」とは、なかなかシリアスですが、だいじょうぶ、学校の友達が助けてくれますよ、きっと。つくりのこまやかさがヒットして最多特別賞です、おめでとう！ 特別賞：字がうまくなりすぎで賞 from S班（時系列が分かりません） 戦慄のクリスマス賞 from W班（12月25日にヤツがやってきたから） 凍賞 from Z班 イチオシフレーズ：「たすけて」× 2
10	ぺんぎんとさかな	2 pt7 位2 sp やさしいひらがなのなかに埋め込まれた「ちがうさかな」というフレーズにメッセージ性を読みました。 仕上がりのかわいらしい今週の裏表紙です。いやまさか、そんなヨコヨミが潜んでいたなんてっつ。おかげで今週のイチオシフレーズ大賞ゲットです。 特別賞：垢消しま賞 from Q班（アカを消してほしいという思い） ムアームアーポッポ賞 from V班 イチオシフレーズ：「にもぐり」「ぺんぎんあかけせ」× 2